

参加者募集 No.01-18講習会 **自動車開発における人間工学の理論と実践 - ドライバの特性を考えた車づくり -** Intensive Course

問合せ先：シンポジウム事務局 Tel. 045-453-2225

【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2018/scdl.php> E-mail: sympo@jsae.or.jp

- 日時** 2018年8月9日(木) 9:45~17:10
- 会場** 名古屋大学東山キャンパス ES 総合館 (名古屋市千種区不老町)
- 協賛(予定)** 日本人間工学会, ヒューマンインタフェース学会, 日本機械学会, 計測自動制御学会, 日本感性工学会, 日本交通科学学会, 日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター
- 企画** ドライバ評価手法検討部門委員会・ヒューマンファクター部門委員会
- 定員** 100名

参加申込方法
シンポジウムページ【URL】 <http://www.jsae.or.jp/sympo/2018/scdl.php> よりお申込みください。
(請求書払いまたはクレジットカード決済より選択可)

参加費 (消費税込・サブテキスト1冊込)
正会員 16,200円 学生会員 3,240円 賛助会員 22,680円
一般の方 32,400円 協賛学協会の会員 22,680円
*本講習会は、「自動車技術ハンドブック 第3分冊:人間工学編」をテキストとします。本ハンドブックをお持ちでない方は、別途4,000円でご購入できます。当日ハンドブックも忘れずにご持参ください。

参加のおすすめ

自動車開発における人間工学の基礎知識・方法, 具体的な実践事例を示すことで, 初学者や若手技術者等のスキルアップを目指します。テキストには自動車技術ハンドブック人間工学編を用い, 講習会後の知識の定着を効果的に進められるようにします。インタラクティブセッションでは, 活用上のポイントや注意点を講師と直接議論できます。本講習会で自動車人間工学への理解の深化が期待できます。ご参加お待ちしております。



ドライバ評価手法検討部門委員会 委員長 佐藤稔久氏



ヒューマンファクター部門委員会 委員長 鈴木宏典氏

プログラム

9:45	開会挨拶・講習会主旨説明	ドライバ評価手法検討部門委員会委員長 産業技術総合研究所 佐藤稔久氏
	司会 株豊田中央研究所 菅原朋子氏	
9:50	人間中心設計とユーザー理解の手法	芝浦工業大学 吉武良治氏
10:40	休憩	
10:50	視覚・色覚の特性と視認性工学	横浜国立大学 岡嶋克典氏
11:40	休憩	
11:50	自動車人間工学における統計解析の基礎	愛知工科大学 荒川俊也氏
12:40	休憩	
	司会 株SUBARU 鳥居武史氏	
13:40	実験デザイン	慶應義塾大学 大門 樹氏
14:30	休憩	
14:40	車載 HMI 機器の操作性向上に関する取り組みーデンソ어의操作性評価技術の紹介ー	(株)デンソー 石田健二氏
15:10	休憩	
15:25	インタラクティブセッション	
	ドライブレコーダを用いた運転行動の観察	成蹊大学 竹本雅憲氏
	生理計測を用いた研究事例の紹介	日本大学 栗谷川幸代氏
	AUIのデザインと評価	パイオニア(株) 永田英記氏
	Smart Drive に対するドライバの動機づけを高める	
	運転支援システムの事例紹介とその設計指針	名古屋大学 平岡敏洋氏
	ユーザビリティ評価と主観的評価法の基礎と実践	(株)U'eyes Design 梶川忠彦氏
	ドライバの個人差の理解と個人特性活用	日本大学 石橋基範氏
	人間特性に配慮したドライバーへの車室内情報伝達方法	日本自動車研究所 大谷 亮氏
	ペダル踏み間違い事故のきっかけを減らす, 筋骨格特性を考慮したドライビングポジション	マツダ(株) 水谷彰吾氏
	眼球運動関連指標によるドライバモニタリング	甲南大学 山中仁寛氏
	ドライビングシミュレータを用いた高齢ドライバの運転行動解析	名古屋大学 米川 隆氏
17:05	閉会挨拶	ヒューマンファクター部門委員会委員長 日本工業大学 鈴木宏典氏

◆インタラクティブ・セッションのポスターは写真撮影可

◆プログラムは講師, 会場の都合などにより予告なく変更となる場合があります。

※インタラクティブセッションについて
インタラクティブセッションでは, 全講師が並行して講演用ポスターの前で話をします(学会のポスター発表の形態, 1ラウンド20分×4ラウンド間に5分の小休止)。各講師と, Face to Face で突っ込んだ議論ができることを狙っています。